

【研究テーマ】

□ **繋ぐ・私たちの言葉－静岡を笑顔に－(しずおかハッピーシニアライフ事業)**

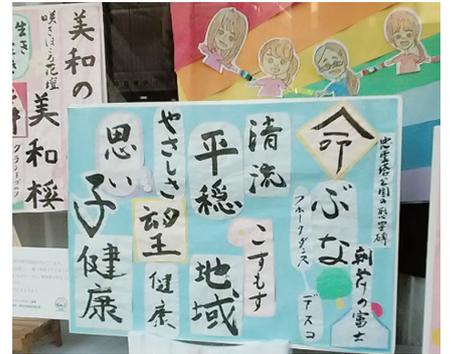
キーワード：交流、短歌、筆文字、守りたい

教育学部

プロジェクトの概要

○ 私たち、静大言語学生(女子)の仲間＝[SDKGs]は、生涯にわたる健全な社会生活の実現を目指す静岡市高齢者福祉課の「しずおかハッピーシニアライフ事業」に共感し、次の活動を行いました。

- ◆ **【語る】～【飾る】～【綴る】**の流れで進めました。
- * 対面での交流では、「守りたい」身近な自然、家族を、まず毛筆で書いてもらい、それをテーマにして語り合い、短歌を作りました。そして、この時に書いた「毛筆書：守りたい」を市街地に展示しました。
- * 短歌は、手紙、faxやメールでの交流の方々も含めて歌集にします。「何気ない日常が、歌にすると一つ一つ輝いて見える。」「今まで、自分のことを語ることはなかった。じっくり聞いてくれて、凄く嬉しく思った。この出会いを大事にしたい。」との感想をいただきました。
- * 毛筆書や短歌作りなどの創造的活動は認知予防に効果的です。
- * 歌集がお手元に届けば、歌の世界に誘われ他の方の「思い」に共感し、新たな交流が生まれるでしょう。参加してくれた市内各所の100名を超えるシニアの方々との素敵な「出会い」に感謝しています。



大学生は学業とアルバイト等に時間を要して地域との交流の機会がほとんどなく、学生と高齢者や外国人、障がい者の方々とは、各々の生活のフィールドが分けられている印象を受けます。しかし地域の方々から教わることは非常に多いのです。そこで杉崎研究室では、これまでも、学生が自らの学びを生かして社会貢献できるよう、筆文字を書くことや短歌、カルタを作るなどの言葉を大事にしたコミュニケーションの機会を数多く設定してきました。その経験から、授産所で働く方々や在住外国人(焼津市)との交流が、学生と相手の方との双方にとって、心豊かな生活に繋がる幸せな「出会い」になることを確信しています。今回は、シニアの経験知に触れる貴重な機会と考えて上記の活動を行いながら、みんなで「守りたい」(SDGs)について、じっくりと考えることができました。今後も、持続可能な社会の実現に向けて、異年齢、異文化、バリアフリーの交流等を積極的に進めていきます。

社会連携へ向けたアピールポイント

プロジェクトリーダー



杉崎 哲子
学術院教育学領域
国語教育系列
教授

■ プロジェクトメンバー

- ・田端美帆
- ・高橋 萌
- ・熊谷咲良
- ・鈴木有紀
- ・山田彩加音 (4年)
- ・杉本真緒
- ・清水彩果
- ・宮澤杏佳
- ・青木夢稀
- ・伊藤彩花 (3年)
- ・石黒 花
- ・杉山桜蘭子
- ・川嶋桃子
- ・給田優花 (2年)

■ 相談に応じられる関連分野

- ・国語、日本語支援
- ・書道、書芸術

